

熊本県公立高校の入試選抜方法

■入試制度の概要

■通学区域については、以下の内容で実施されています。

- ① 3学区制
 - ・ 県北学区（荒尾市・玉名市・山鹿市・菊池市・阿蘇市 等）
 - ・ 県央学区（熊本市・合志市・宇土市・宇城市・菊陽町・益城町・御船町・甲佐町 等）
 - ・ 県南学区（八代市・水俣市・天草市・上天草市・人吉市 等）
- ② 学区外枠は普通科については、13%となっています。

令和5年度公立高校入試日程

1. 前期（特色）選抜

出願期間	令和5年 1月13日（金）～1月17日（火）午後4時
前期（特色）選抜実施日	令和5年 1月24日（火）
結果の通知	令和5年 2月1日（水）
合格者発表	令和5年 3月6日（月）

2. 後期（一般）選抜

出願期間	令和5年 2月2日（木）～2月7日（火）正午
後期（一般）選抜実施日	令和5年 2月21日（火）・22日（水）
合格者発表	令和5年 3月6日（月）

現在、コースを除く普通科については、前期（特色）選抜を実施しておらず、後期（一般）選抜のみとなっています。

■前期（特色）選抜制について

- ① 前期（特色）選抜の募集人員を、募集定員の70%以内の範囲で当該高等学校長が定めます。ただし、熊本市に所在する高等学校においては、募集定員の50%以内の範囲で当該高等学校長が定めます。
- ② 前期（特色）選抜を実施する高等学校は、重視する観点を定め、その観点に沿って、学校独自検査（面接、小論文、実技検査等）の中から選抜方法を定めます。（独自検査については、複数の組み合わせもある。）
- ③ 前期（特色）選抜試験で合格した場合は、必ず入学することが条件となっています。

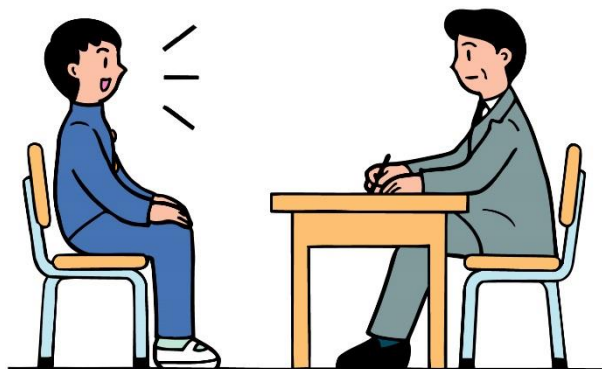


■後期（一般）選抜制について

後期（一般）選抜では、入学者の選抜は調査書の記録及び学力検査の内容を総合して評価されます。普通科を受験するほとんどの生徒は、後期選抜のみの受験となります。前期（特色）選抜を実施する学校については、募集定員は前期選抜の合格内定者数を差し引いた数となります。選抜方法の手順は次の通りです。

- (1) 5教科の学力検査の得点（各教科 50 点満点／検査時間は各 50 分）を合計し、合計点の高い順に順位をつけます。
- (2) 調査書の評定については、次の①～③の手順で総計点を算出し、総計点の高い順に順位をつけます。
 - ① 学力検査を行う5教科については、教科ごとに、第1学年及び第2学年の評定に、第3学年の評定を2倍したものを加えて合計し、さらに、絶対評価への不平等感を是正する目的で、その合計点を、学力検査の得点を用いて補正しています。（次ページの補正方法を参照。）
 - ② 学力検査を行わない4教科については、教科ごとに、第1学年及び第2学年の評定に、第3学年の評定を2倍したものを加えて合計します。
 - ③ ①で補正した5教科の合計点に、②の4教科の合計点を加えて総計点を算出します。
- (3) 受験者の中で、(1)の学力検査の順位、(2)の評定の順位が、ともに募集人員以内にある者を対象に、第1選考として、その中から合格者を決定します。
- (4) 第1選考での合格者数が募集人員に満たない場合、各高等学校長は、あらかじめ各高校で定めた選考基準に従って、第1選考の合格者以外の中から残りの合格者を決定します。（熊本、第二、第一などは、概ね評定よりも学力検査重視です。）

令和4年度の後期選抜は、熊本高校 1.39 倍、済々黌高校 1.66 倍、熊本第二高校（普通）1.59 倍、熊本第一高校（英語コース除く普通）1.79 倍、熊本北高校（普通）1.68 倍、必由館高校（普通）1.67 倍と高倍率をキープしています。早い段階から、しっかりと目標を定めて準備していく必要があります。



補正方法 英進太郎君の場合

学力検査の得点合計 169点 補正後の評定の合計 137点

<学力検査の得点>

国語	36
社会	30
数学	28
理科	35
英語	40
合計	169

<調査書の評定>

	1年	2年	3年	×2	合計	補正	
国語	3	3	4	8	14	15	
社会	4	3	4	8	15	15	
数学	4	3	3	6	13	13	
理科	4	2	4	8	14	15	
英語	3	2	4	8	13	15	
音楽	5	3	5	10	18		
美術	4	2	3	6	12		
保体	4	3	4	8	15		
技・家	5	4	5	10	19		
総計点						137	

国語の学力検査の得点 36点
評定が14点の場合の補正

得点 \ 評定	50	47	44	41	38	35	32	29	26	23	20	17	14	11	8	5	2
評定	48	45	42	39	36	33	30	27	24	21	18	15	12	9	6	3	0
20	20	20	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12
19	20	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12
18	19	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11
17	19	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11
16	18	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10
15	18	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10
14	17	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9
13	17	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9
12	16	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8
11	16	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8
10	15	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7
9	15	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7
8	14	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6
7	14	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6
6	13	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6	5
5	13	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6	5	5
4	12	12	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	6	6	5	5	4

※熊本県教育委員会ホームページより抜粋

◆後期選抜 数学・英語選択問題の学校別一覧（令和4年度）令和5年度分は後日発表されます。

数学及び英語の学力検査においては、県教育委員会の作成した選択問題から、各高校が自校の受検者が解答する問題を指定します。市内のほとんどの高校が難易度の高いB問題を選択しています。

	済々黌	熊本	第一	第二	熊本西	熊本北	東稜	必由館	千原台
数学									A
	B	B	B	B	B	B	B	B	
英語									A
	B	B	B	B	B	B	B	B	

◆後期選抜における「第1選考後の選抜基準」（令和5年度）

後期選抜の第1選考で合格者数が募集人員に満たない場合に、残りの合格者を決定する際の基準として、各高等学校があらかじめ定めるものです。

【熊本県立高等学校全日制課程】

学校名	学科・コース		第 1 選 考 後 の 選 抜 基 準
	学科	コース	
済々黌	普通		学力検査5教科の得点合計を5倍した点数と、調査書の評定の総計点を合計し、合計点の高い順に順位をつけたものを選抜の主たる資料とする。
熊本	普通		学力検査5教科の得点合計を主たる資料とし、第1選考で使用した評定の総計点を参考として選抜する。
第一	普通		学力検査の順位を主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。
	普通	英語	学力検査（英語は得点を2倍して処理）の順位を主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。
第二	普通		学力検査得点の合計点（250点満点）の順位を主たる資料とし、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を参考として選抜する。
	理数		学力検査得点（数学は得点を2倍にした300点満点）の合計点の順位を主たる資料とし、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を参考として選抜する。
	美術		学力検査得点の合計点（250点満点）と実技検査の得点（100点満点）の合計点（350点満点）の順位を主たる資料とし、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を参考として選抜する。
熊本西	普通		学力検査5教科の得点合計を主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。
	普通	体育	実技検査の得点合計を主たる資料とし、学力検査の得点合計及び調査書を参考として総合的に選抜を行う。
	サイエンス情報		学力検査得点の合計点を主たる資料とし、調査書を参考として総合的に選抜を行う。
熊本北	普通		学力検査5教科の得点合計を2倍した点数と、第1選考で使用した調査書の評定の総計点を合計し、合計点の高い順に順位をつけたものを選抜の主たる資料とする。
	理数		学力検査得点（数学は得点を2倍）の合計点を2倍した点数と、調査書の評定の総計点を合計し、合計点の高い順に順位をつけたものを選抜の主たる資料とする。
	英語		学力検査得点（英語は得点を2倍）の合計点を2倍した点数と、調査書の評定の総計点を合計し、合計点の高い順に順位をつけたものを選抜の主たる資料とする。
東稜	普通		学力検査得点合計（250点満点）を主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。
	普通	国際	学力検査得点合計（英語の得点を2倍した300点満点）を主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。
	普通	理数	学力検査得点合計（数学の得点を2倍した300点満点）を主たる資料とし、調査書を参考として選抜を行う。

公立高校後期選抜 受検者数と倍率の推移（平成30年度～令和4年度）

【公立後期】		平成30年度			平成31年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
学校名	学科 コース	定員	出願 者数	倍率	定員	出願 者数	倍率	定員	出願 者数	倍率	定員	出願 者数	倍率	定員	出願 者数	倍率
熊本	普通	400	554	1.39	400	597	1.49	400	584	1.46	400	559	1.40	400	555	1.39
済々黌	普通	400	722	1.81	400	611	1.53	400	634	1.59	400	625	1.56	400	664	1.66
第一	普通	320	512	1.60	320	586	1.83	320	556	1.74	320	642	2.01	320	573	1.79
	英語	30	51	1.70	30	43	1.43	30	45	1.50	30	40	1.33	30	39	1.30
第二	普通	320	465	1.45	320	536	1.68	320	430	1.34	320	440	1.38	320	509	1.59
	理数	24	41	1.71	24	39	1.63	24	29	1.21	20	28	1.40	20	42	2.10
熊本北	普通	280	471	1.68	280	380	1.36	280	371	1.33	280	417	1.49	280	471	1.68
	理数	20	45	2.25	20	34	1.70	20	54	2.70	20	27	1.35	20	41	2.05
	英語	20	21	1.05	20	17	0.85	20	28	1.40	20	12	0.60	20	20	1.00
東稜	普通	280	399	1.43	280	329	1.18	280	394	1.41	280	291	1.04	280	330	1.18
	国際	20	28	1.40	20	23	1.15	20	19	0.95	20	22	1.10	20	18	0.90
	理数	20	25	1.25	20	14	0.70	20	23	1.15	20	14	0.70	20	21	1.05
熊本西	普通	280	349	1.25	280	288	1.03	280	196	0.70	280	184	0.66	280	213	0.76
	サイエンス 情報科	20	13	0.65	20	17	0.85	20	24	1.20	20	16	0.80	20	15	0.75

※熊本西高校は、令和2年度より、理数科をサイエンス情報科と名称と変更しています。

※（倍率）＝（出願者数）÷（定員）

後輩達への激励記

「努力の結晶」

熊本高校1年 星子 愛里子さん（熊本高校、早稲田佐賀高校、熊本学園大学付属高校 合格）

あっという間に過ぎ去った受験生としての一年。しかし、「受験」は一年間だけのものではありません。私自身、小学生のときに中学校受験を成功させることはできましたが、受験生になる前からの努力が少なく、当時とても大変だった覚えがあります。そのため、中学生になってからの勉強は高校受験のために、できるだけ疎かにしないように心がけました。中学三年生になり、ふとしたときに過去の自分のノートやワークのやり直しを見て、過去の自分に負けまいと奮いたつことができ、勉強の励みに何度もなっていました。受験日が刻一刻と迫ってくる中で、私がこだわっていたことは模試の復習と知識事項の再確認です。英進館の大予想模試は本番の入試を想定して行われているからこそ、復習は徹底するようにしていました。具体的には、間違いの原因を探り、関連することまで調べていました。また、各テストごとに凡ミスでの失点を合計し、自分の愚かさを自覚させて、凡ミスをなくしていくために試行錯誤もしていました。知識がある程度ついてるとはいえ、授業のときや問題を解いているときに未知のことが多く出てきていたため、すぐにメモして、それをテスト前や時間があるときに見返して知識の補充をしていました。

これから受験を迎えるみなさん、きっと不安になることはあると思います。そういうときはリフレッシュすることが良いと聞きますが、私はひたすら良い結果につながるように勉強して自信をつけようとしていました。英進館での学びは財産であり、宝物です。入試本番の日に今までお世話になった先生方や共に切磋琢磨してきた京町校の仲間の顔を見られて安心し、いつも通りの状態で試験に臨むことができました。

「いつも通り」はとても難しいことでありながら一番大切なことであると身をもって感じました。家族、先生方、仲間、その他私を支えてくださった方に本当に感謝しています。私は既に大学受験へのカウントダウンが始まっています。高校受験での経験を糧にこれからも勉強に励みます。ありがとうございました。

（「巣立ち」より一部抜粋）